第92回
東京女子医科大学学会総会

The 92nd Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University

近年、難聴は単なる感覚器の障害にとどまらず、認知症発症の重要な修正可能リスク因子の一つとして注目されている。大規模疫学研究では、加齢性難聴が認知機能低下や認知症の発症と有意に関連することが報告され、難聴への介入が認知症予防の観点からも重要である可能性が示唆されている。一方で、難聴と認知症の関連の背景には、聴覚入力低下による脳負荷の増大、社会的孤立、脳構造の変化など複数の機序が関与すると考えられている。
本講演では、難聴と認知機能の関連についてこれまでに報告されている主要な疫学研究および基礎研究の知見を概説するとともに、補聴器などの聴覚介入が認知機能に与える影響に関する最新の研究結果を紹介する。さらに、臨床現場における難聴診療が認知症予防に果たし得る役割について考察し、耳鼻咽喉科医のみならず他領域の医療者にとっての意義についても議論したい。

13:30〜13:35
三谷　昌平（東京女子医科大学学会 会長）
会長挨拶

13:35〜13:40
水足　邦雄　座長
（東京女子医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野）
挨拶・趣旨説明

13:40〜14:30
内田　育恵（愛知医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
難聴と認知症－社会的影響と対策－

14:40〜14:55
栗岡　隆臣（北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻）
耳鳴りはなぜ聞こえる？治るの？
－耳と脳のふしぎな関係－

14:55〜15:10
宇佐美龍太（東京女子医科大学附属足立医療センター 耳鼻咽喉科）
難聴の種類と治療法
－軽度〜中等度難聴にどう向き合うか－

15:10〜15:25
水足　邦雄（東京女子医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野）
認知症は補聴器で予防できる？補聴器の最新知見

15:25〜15:45
総合討論：
超高齢社会での難聴　これからの対策の未来図

公開シンポジウム

難聴と認知症の意外な関係
―難聴研究の最新知見―

2026
9/26（土）
13:30▶15:45

申込不要　参加無料

現地会場
東京女子医科大学
弥生記念講堂
東京都新宿区河田町8-1

配信URL
申込

学会サイト
学会

※総会はWEB決議
※学会サイトにて随時更新
※後日にオンデマンド配信予定

問合せ先 ◇ 東京女子医科大学 彌生記念教育棟1階図書館内 学会室